

XHTML+CSS Slideshow Tool Ver 1.0

double-team.org / ユースケ
2007年8月21日

これは何？

XHTML 文書と CSS による表現のみで PDF ファイルにスライドショーとして印刷されるツールです。

概念

基本的には [S5 \(http://meyerweb.com/eric/tools/s5/\)](http://meyerweb.com/eric/tools/s5/) と同様です。

ただし S5 のようにブラウザ上でプレゼンテーションを行うのではなく、PDF 印刷を目的としています。

XHTML 文書にプレゼンする内容を記述し、それを PDF 印刷するとスライドが作成されます。

JavaScript を使ったエフェクトは存在しないので、単純なスライドショーになりますが、HTML に慣れていれば Microsoft Office Power Point や Keynote より使いやすいはずです。(少なくとも自分は)

使い方

HTML 文書に内容を記述します。

`<div class="canvas">` がスライド1ページに相当します。

```
<div class="canvas">
```

```
  <h1>スライド1ページの見出し</h1>
```

段落やリストを使用してマークアップします。

```
</div>
```

注意事項

- Win IE6 では正常に意図した通りに表示できません。
- Win IE6 で印刷プレビューをするとハングします。
- 印刷時に”背景色また背景画像を印刷する”にチェックを入れてください。
- 印刷時に余白を無くすといい感じになるはずですが。

position: fixed; を使用しているのもそもそも IE6 では無理です。

メリット

1. オーサリングツールを使って作れる
 - Dreamweaver とかその辺でちゃんとルール通りにやれば問題ない
2. PDF の1ファイルだけで済む
 - 資料としては PDF だけ。画像も HTML ファイルもスタイルシートファイルもいらない
3. スライド資料をそのまま Web に公開できる
 - 公開時に PDF 化せずに、資料に使った PDF をアップするだけ
4. 普通に紙資料としても使える
 - 印刷用で別に作る必要が無い

デメリット

1. PDF 印刷できる環境がなければ意味が無い
 - Windows ではデフォルトで PDF の印刷が不可能なので敷居が高くなる
2. PDF 印刷時の見た目を変えたい時の手間がひどくかかる
 - 毎度毎度印刷プレビューをしなければならない
3. Win IE6 で使えない
 - 仕様ですw
4. ハイパーリンクが PDF 印刷すると使えない
 - 目的はあくまでスライドショーなので勘弁してくださいって言うか無理 content プロパティを使用して URL の文字列を表示する程度が限度です